

平成26年度 第12回 栃事研セミナー

8月19日（火）宇都宮市のパーティとちぎ男女共同参画センターにて、43名の方にご参加をいただき、栃事研セミナーが開催されました。今回は「学校評価と事務部評価」と題し、事務部評価項目の立て方や、改善の手立てを身につけるための研修を行いました。

講師に、足利市立山辺中学校 岡崎信二事務長、アドバイザーに7名の方をお迎えし、講義・演習を行いました。

まず講義では、学校評価や事務部評価のねらいや目的、役割等についての話を聞き、評価結果の活用等について学びました。



次に、2名の方から実践発表がありました。実際の取組を聞くことで、身近に感じることができました。星野事務長からは「校長が描く学校経営ビジョンから計画・実践・評価」の流れを、そして倉澤主任からは「評価結果から計画・実践そして評価」の実践発表をしていただきました。お二人の実践発表は分かりやすく、とても参考になりました。



午後はグループワークを行いました。まずは演習1「評価項目をかんがえよう！」

グループでは、相手の立場になりどのような設問にするか。また、数値で評価するのか、それとも意見をもらうのか等、様々な視点から実際に評価項目を作成しました。他校の事務職員と一緒に事務部を運営する感覚で、楽しさや悩みなどを共有することができました。



演習2では、評価結果を分析し、どのように実践に結びつけるのかを考えました。付箋に意見を記入し、評価結果に対する分析と改善策について意見を出し合いました。人それぞれ改善策が違い、とても参考になりました。また、共同実施組織としての改善策は難しく意見も出しづらいようでしたが、アドバイザーからアドバイスを頂きながら、演習シートをまとめることができました。



最後に、すべてのグループがまとめを発表しました。どのグループも活発な意見が出ており、有意義な研修になったようです。

事前アンケートでの「評価」に対する印象は、必要性は感じているものの、先生たちの手を煩わせる、何をしたいのかわからないという意見が多く挙がりましたが、研修終了後のアンケートでは、「改善点を話し合うのが楽しかった。また参加したい。」や「よく理解できました。」などのご意見をいただきました。

参加者の方には半年後、自校の学校評価から課題を見つけ、改善のための実践を行い、Actionシート③を提出していただきます。今回のセミナーで学んだことを学校で実践していただき、学校や児童生徒、そして自分がどのように変わったか。そしてどのような成果があったのか、報告していただけるとありがたいです。

また、セミナーを受講された方も、されていない方も、今回のセミナーや伝達等をきっかけに、積極的に「評価」に取り組んでいただければと思います。

